

氏名	野口 徹 NOGUCHI Toru
所属 職名	人間文化創成科学研究科文化科学系 准教授
学位	Ph.D. (1995 マサチューセッツ大学アマースト校)
専門分野	文法理論 (統語論・意味論・形態論)
URL	
E-mail	noguchi.toru@ocha.ac.jp

## 研究者キーワード / Keywords

文法理論  
生成文法  
統語論  
意味論  
照応

grammatical theory  
generative grammar  
syntax  
semantics  
anaphora

## 主要業績

## 研究内容 / Research Pursuits

中心的研究課題である再帰代名詞の文法化に関する研究を進めた。再帰代名詞の歴史的変化と文法化全般に関する比較的最近の研究書に目を通して、データベースを構築すると同時に、理論的問題点の整理を行った。

I continued research into the grammaticalization of reflexive pronouns, which I had been doing for several years. I looked into relatively recent works in the historical development of reflexive pronouns and grammaticalization in general, adding up to th

## ■ 教育内容 / Educational Pursuits

学部においては、コア科目「基礎英語I文3b」において英語を、学科共通科目「言語学概論」において主に言語文化学科所属の学生を対象に言語学の入門の授業を担当した。英語圏言語文化コースの専門科目として、「英文法演習」、「特別演習（言語研究方法論）I」および「英語学特殊講義II」において、主に統語論の初級から中級レベルの授業を行った。「特別演習（言語資料分析）II」においては、卒論作成中の学生に対する専門分野の指導を行った。また、教職に関する科目「英語科教育法II」も他教員と共同で授業を行った。大学院においては、「英語学特論（文法論）」および「英語学演習（形態論）」において、比較的最近の文法理論に関する文献をいくつか取り上げ、詳細な検討を行った。

For undergraduate students, I taught classes such as "Basic English I," "Introduction to Linguistics," "Seminar: English Grammar," "Advanced Seminar: Methodology in Linguistic Research I," and "Special Lecture on English Linguistics II." I also co-taught

## ■ 研究計画

再帰代名詞の文法化の研究を更に進める予定である。多くの言語に見られる普通名詞から再帰代名詞への歴史的変化に特有の文法上の条件について、一般言語理論の立場から明らかにしたい。英語のデータはかなり豊富に記録されているが、日本語を含めその他の言語の再帰代名詞の歴史的変化については、十分に明らかにされたとは言えない。データベースを構築すると同時に、妥当な照応理論の方向性を探る予定である。

## ■ メッセージ

私が専門科目を担当している英語圏言語文化コースでは、英語学と英米文学を専門に学ぶことができます。私は、英語学の授業科目を担当していますが、理論言語学的な立場から、統語論、意味論、形態論などを授業では扱っています。一言で言えば、英語を人間のことばの一つとして捉え、英語を背後から支えている仕組みをできる限り客観的に明らかにしようという取り組みです。（一般的には、「生成文法」と呼ばれています。）英語に限らず、人間のことばには、表面を見ただけでは分からないような深い意味を持つ仕組みが潜んでいます。そのような「無意識の知識」を明らかにすることにより、英語とはどのような言語なのか、また、人間のことばにはどのような仕組みが働いているのか、学生の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。このような事柄に興味を持つ方を歓迎いたします。